

日時：2004年7月13日 13時30分～
 場所：キャンパス・イノベーションセンター(田町)
 1階国際会議室

エンピリカルソフトウェア工学研究会 (第2回)

次 第

1. 本日の次第 研究会

13:30～13:40	EASE プロジェクト状況報告(司会：神谷)
13:40～14:40	一般講演： 「ソフトウェアマネジメントのモデル・メトリクス ～ C S S 開発データの分析例 ～」 桐蔭横浜大学 工学部 電子情報工学科 教授 高橋 宗雄
14:40～15:40	EPM 利用関連講演： 「アジャイルソフトウェア開発のためのコミュニケーションを用いた プロジェクト能力計測方法の提案」 阪南大学 経営情報学部 大学院企業情報研究科 助教授 花川 典子
15:40～15:55	休 憩
15:55～16:15	参加報告： 「International Conference on Software Engineering 2004 (2004/5/23-/28, Edinburgh, Scotland, UK)」 奈良先端科学技術大学院大学 産学官連携研究員 大平 雅雄
16:15～16:45	EPM 開発関連報告： 「GNATS と Gnatsweb の概要とカスタマイズ方法 ～ Web&メールベースの Bug Tracking System ～」 NTT ソフトウェア株式会社 岩村 聡
16:45～17:00	その他： Q & A、今後の予定 等(司会：神谷)

交流会(会費制：3,500円)

17:15～18:45	交流会(会場：2階 多目的室) ご参加の方は受付にて会費のお支払いをお願いいたします。 領収書をお渡しいたします。
-------------	---

2. 本日の配布資料

資料1 EASEプロジェクト状況報告資料

資料2 一般講演 資料

資料3 EPM利用関連講演 資料

資料4 参加報告 資料

資料5 EPM開発報告 資料

資料6 共同研究契約書(案)

アンケート票

3. EPM研修会予定

日 程：7月26日(月)13:00 ~ 28日(水)12:00

(26日の夜に交流会を開催予定)

場 所：エンピリカルソフトウェア工学ラボ(大阪・千里中央)

参加申込：7月14日(水)までに事務局・神谷まで

4. 次回の研究会(予定)

研 究 会：10月5日(火)13:30より

キャンパス・イノベーションセンター(田町)にて

EPM研修会：10月18日(月)~20日(水)

エンピリカルソフトウェア工学ラボ(大阪・千里中央)にて

以 上

<ご講演講師紹介>

高橋 宗雄（桐蔭横浜大学 工学部 電子情報工学科 教授）

ソフトウェア工数見積もり、ソフトウェア開発における人的要因、パーソナルソフトウェアプロセスなどの研究に取り組む。

ご略歴

- 1967年 千葉大学工学部電気工学科 卒業
- 1967年 日本電信電話公社にてソフトウェア信頼性評価、ソフトウェア品質管理、ソフトウェアプロジェクトマネジメントに関する研究・開発に従事
- 1988年 博士（工学）取得（九州大学）
- 1991年 桐蔭横浜大学 工学部 助教授
- 2002年 桐蔭横浜大学 工学部 教授

主な著書

- 「ソフトウェアマネジメントモデル入門」（共著、共立出版,1993）
- 「クライアントサーバーシステム開発の工数見積もり技法」（ソフト・リサーチ・センター,1998）
- 「TQMのための統計的品質管理」（共著、コロナ社,1998）

花川 典子（阪南大学 経営情報学部 大学院企業情報研究科 助教授）

人的要因を考慮したソフトウェア開発シミュレーションモデル、ソフトウェア開発プロセスモデルなどの研究に取り組む。

ご略歴

- 1984年 大阪教育大学 教育学部 卒業
- 1984年 （株）日本コンピュータ研究所にてソフトウェア開発業務に従事
- 2000年 奈良先端科学技術大学院大学博士後期課程修了,博士（工学）取得
- 2000年 （株）日立製作所にてコンサルティング業務に従事
- 2002年 阪南大学 経営情報学部 専任講師
- 2003年 阪南大学 経営情報学部 助教授

主な著書

- ソフトウェア工学の基礎 ソフトウェア科学会 FOSE 2002、井上克郎編（執筆担当：作業分割による増加工数を考慮した工数見積もりモデルの提案，pp37--48），近代科学社，2002.11.
- ソフトウェア工学大事典 片山卓也，土居範久，鳥居宏次[監訳]（翻訳担当：ハイパーテキスト pp1112 -- 1120），朝倉書店，1998.12.